



新緑

しんりよく



【発行】社会福祉法人 新緑福祉会／神戸市西区玉津町水谷字セリ合 400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <https://www.shinryoku.or.jp/>

今後の事業の実施に向けて

新緑福祉会 理事長 平田 健次



令和元年6月25日今年度初めての新緑福祉会評議員会を開催し、評議員会終了後の理事会にて新しい令和の新体制が決定いたしました。

退任された理事の戸江様、評議員の丸山様におかれましては、保護者の立場から様々なご意見をいただきました。また中橋理事におかれましては、建築の専門家としてご尽力いただきました。

由岐監事様におかれましては、保護者の立場、社会福祉法人運営の専門家として各種ご助言をいただきました。また、三木監事様には、監事より理事に就任いただくことになりました。皆様 本当にありがとうございます。今後も新緑福祉会、知的障害者を見守って下さいますようよろしくお願いいたします。

五人の評議員、理事、監事様の退任に伴い新たに評議員として内藤様、理事として三木様、石古様、監事として浜口様、箸尾様をお迎えし、新緑福祉会として新たなスタートをきりました。私も引き続き理事長を担います。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度、重度高齢化対応のグループホーム「えみのき(咲の樹)」が完成いたしました。保護者や利用者の高齢化は待った無しに進み、そのことに対応する新規事業創設は急務となってきております。

第2期中期計画の策定を急がなくてはなりません。まずは新緑福祉会の保護者、手をつなぐ育成会の会員のみなさまのご意向を明確に理解するため、早急にアンケート調査を実施します。皆様方の忌憚ないご意見をお聞かせください。結果については今年度中にまとめ、今後の計画に活かしていきたいと思っております。

第2期中期計画の中には5年後を目途に、手をつなぐ育成会の協力をいただきながら、365日、24時間対応できる施設の創設を盛り込んでいきます。

施設種別としては、入所施設の新規建設ができない中で、知的障害に特化した特別養護老人ホーム、重度高齢化対応のグループホームなどです。

実施時期の5年後というのは、新規事業に対する手をつなぐ育成会の補助、即ち事業協力金の累積金額の見込みなどによるものです。事業協力金は新緑福祉会の保護者の皆様も手をつなぐ育成会に会費とは別にお納めいただいております。

建設場所についてはしあわせの村を考えております。しあわせの村は開村30周年を迎え、村のリニューアルを考えておられ、そのリニューアルに併せて新規事業に着手したいと思います。

えみのきの建設、運営上の経験から色々な課題も見えてきます。建物はできたが、人材確保がとても難しく支援員不足に苦慮しており、現在隣接する法人内事業所(平成・緑友)との連携で対応している次第です。

もう一つは運営資金の問題です。重度高齢化対応のグループホーム・ショートステイ併設型は全く新規事業であり、当初より赤字が見込まれておりましたが初年度は約1,000万円の赤字となりました。

法人としては、他事業所からもバックアップできるよう各事業所のさらなる運営努力も進めてまいりたいと思っております。また手をつなぐ育成会を軸とした関係団体にもご支援をいただきながら健全な運営に近づくように法人全体で取り組んでいきたいと考えております。

さらにもう一つ。民間資本を活用したグループホームの運営なども、同時に検討していきたいと思っております。

新規事業の開始には様々な課題を抱えておりますが、実現に向け法人理事、評議員、監事が利用者、保護者、職員と一体となって進めていけるよう皆様方のご協力、ご尽力をお願いいたします。

今後も利用者のため、その保護者のため、働く職員のため、努力してまいります。重ねてご協力、ご尽力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

今、思うこと

新緑の家 保護者会 会長 福井 美鈴



私の次男、宏武は35歳ダウン症です。ヒルシュスプリング症の病気で、生後2日でこども病院に入院です。

お腹に人工肛門造設術の手術、又、日帰り手術など大変でしたが、楽しく過ごしてきました。

歩くのも遅く、病院では「まだ歩く気がない、大丈

夫歩くから」と言ってもらったり、声を出して笑ったときはすごく嬉しかったことなど、色々思い出します。

現在は、新緑の家に元気に通っています。タオルの袋入れ作業を、楽しみながら取り組んでいます。

こだわりもありますが、職員の方々によくいただき、嬉しく思っております。

休日は、3人でお買い物です。「今日はどこに行くの?」「ドライブ?」と言いながら・・・。

又、旅行の話をしていると、旅行かばんを持ってきたりして、3人で旅行に行くのを楽しみにしているようですね。

私は、宏武がいることで人との出会いがあったり、色々な経験ができたりして、私にとっても良いことだと思っています。

「親なきあと」のことも心配ですが、今、このときを大切に過ごしていきたいと思っています。

令和元年度 新緑福祉会新人研修の実施

ワークホーム緑友 施設長 堀江 善也

7月5日(金)に、法人本部にて新緑福祉会新人職員研修会を実施しました。

今年度は、19名の新人が研修に参加しました。

この研修は、「新緑福祉会の業務概要や、業務に必要な基本的知識の取得」を目的として、毎年行っています。

今年度も、理事長、事務局長、施設長、所長、副所長、主任支援員、主任栄養士が、教壇に立ち講義をしました。

特に、理事長の講義は、知的障害者の親の立場からの話で、好評でした。

また、そのほかの講義も、法人のそれぞれの立場からの講義だったので勉強になったという感想が多く聞かれました。

次年度の新人研修には、互いに意見を出し合ったりして親睦を深められる時間も取り入れたいと考えています。



第29回しあわせの村まつり

ワークホーム緑友 広瀬 真奈美

新緑後援会は7月27日(土)しあわせの村まつりに出店いたしました。

昨年は台風で中止になりましたが、今年も当日の朝に三重県に上陸した台風6号の影響で、朝から大雨。出店がどうなることかと心配しましたが、午後3時ごろになってようやく雨が止み、無事、出店することができました。

後援会は、例年通り、空気を入れて膨らむ動物のキャラクターの玩具、ティンカーベルのような天使の羽根、水鉄砲など子ども向けのおもちゃをうり、198,150円の売り上げでした。

暑い中、お手伝いに来られたお父さん、お母さん方(27名)は大変でしたが、平成、緑友、えみのき、3事業所がお世話になるしあわせの村の最大のイベントである『しあわせの村まつり』に少しでも協力できたらという思いで、(売り上げと啓発も目的ですが…)これからも続けていけたらと思います。



第30回 こうべ福祉・健康フェア（しあわせの村） 寄贈品ご協力のご依頼

新緑福祉会後援会

平素は、新緑福祉会後援会へのご協力に感謝申し上げます。さて、今年も「こうべ福祉・健康フェア」に出店いたします。ご家庭でご不用の日用品などございましたら、寄贈いただきたいと思いますので、ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

日 時：令和元年10月6日(日)
10:00～16:00

場 所：しあわせの村
寄贈品回収場所：グリーンホーム平成

令和元年度 親子体験事業報告

ワークホーム緑友 施設長 堀江 善也

今年も、8月に特別支援学校の高等部の方対象に、「夏休みの親子体験事業受け入れ」を行いました。今年度は、下記のように21人の生徒の方と、ご家族の受け入れを行いました。

「将来の進路を決める参考になった。」「作業内容が豊富で一人一人の能力に合わせて対応してもらうので良いと思った。」「おいしい給食を親子で食べられてよかった。」等のご好評をいただきました。

特別支援学校の高等部の方を対象とした親子体験は終了しましたが、在宅の方の受け入れは継続していますので、詳細は、法人本部までお問い合わせください。

	1年生	2年生	3年生	合計
男	8人	5人	2人	15人
女	2人	4人	0人	6人
合計	10人	9人	2人	21人

新人職員の自己紹介

ワークホーム緑友



たなか みさき
田中 美沙希

この仕事のやりがい

栄養士

栄養士としてやりがいを感じるのは、みなさんが笑顔で食事を食べてくれる事です。利用者さんが「今日のご飯なに?」と聞いてくれたり、「おいしい」と言ってくれると頑張ろうと思えます。これからさらに楽しみにしてもらえような食事を提供できたらと思っています。よろしくお願ひいたします。

なだ障害者地域生活支援センター



いらい ちかこ
岩井 千佳子

これからの抱負

相談員

30代後半でヘルパー2級を取得した事をきっかけに福祉の世界に入りました。高齢者介護、明石市社協で障害者地域活動支援センター事業(地活事業)に従事するなど多岐にわたる業種を経験し、この度見守り支援員という新規事業に携わるため8月より勤務させていただくこととなりました。障害者、高齢者という垣根をこえて地域で誰もがお互いを支えあえるネットワーク作りのためにこれまでの経験を存分に活かしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

新緑の家



やまね あきら
山根 章

この仕事のやりがい

支援員

5月より新緑の家で支援員として働いています。日々、利用者の皆様と接することが楽しく、笑顔に癒されています。

この仕事のやりがいは、自分の声掛けによって利用者様が喜んでくれたり、意思表示の難しい利用者様が、意思を表してくれた時に感じます。これからも、利用者様の笑顔が見られるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。

えみのき(咲の樹)



もりもと のりえ
森本 徳恵

この仕事のやりがい

世話人

初めまして「森本のりえ」です。障がい(児)者に寄り添う仕事を17年ほどさせてもらって、それぞれの方の個性という障がいは興味深く時には不快となるものも、共に寄り添い気持ちを同調させるとその人の体験などからくる熱い想いをこんな形で表現しているんだと理解できた時!わくわくしてきます!をもっと感じたいと思います。これが私のこの仕事のやりがい!! だと思っています。皆さんの個性を感じたいです。よろしくお願ひいたします。

報告

法人内各事業所で実習等の受入れを行いました(平成31年4月~令和元年9月)

グリーンホーム平成 青陽須磨支援学校 神戸特別支援学校 神戸親和女子大学 大谷大学 神戸女子大学
神戸看護専門学校 頌栄短期大学

ワークホーム緑友 青陽須磨支援学校 神戸特別支援学校 神戸親和女子大学 神戸女子大学 神戸看護専門学校

玉津むつみの家 いぶき明生支援学校

新緑の家 神戸学院大学 親和女子大学 夙川学院短期大学 神戸看護専門学校 兵庫県立総合衛生学院

講師派遣(平成31年4月~令和元年9月)

なだ障害者地域生活支援センター

令和元年6月1日、なだ障害者地域生活支援センター山本副所長が、社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会の公開講座の講師を務めました。



助成金をいただき設置いたしました

《森村豊明会様より》

平成31年3月に、森村豊明会様より助成金150万円をいただき、作業室に床置き型エアコンを3台設置いたしました。

今年の夏は、大変暑かったですが新しいエアコンが大活躍して、利用者の方が快適に作業や活動を行うことができました。

誠にありがとうございました。

【ワークホーム緑友】

ご寄贈いただきました

《大阪ガスグループ様より》 令和元年9月

パソコン寄贈プログラム「はじまるくん」のパソコンを2台ご寄贈していただきました。

職員の事務仕事はもちろんのこと、利用者の方と一緒にアートクラブ活動に使用するイラストや音楽クラブで歌う歌の歌詞を取り寄せて大変活躍しています。ありがとうございました。

【グリーンホーム平成】



新緑の家体操の先生

NPO法人ブライフ 才原 渉

2回目の寄稿となります「NPO 法人ブライフ」です。新緑の家での「健康体操」を毎月第1・第2火曜日午前に担当させていただいております。新緑の家での運動指導を長く続けさせていただけるのも、ご参加いただく皆様やそのご家族の方々、また職員の皆様によるたくさんのお力添えのおかげです。本当にありがとうございます。

現在は二つのクラスにて運動指導を実施させていただいておりますが、前半クラスではボールを使った筋力向上プログラム・バランストレーニングから始まり、廊下・階段を使った歩行トレーニング、最後はエアロビクスと全身を目いっぱい使ったプログラムとなっています。また後半のクラスについては、前半は腰痛予防などを目的とした体幹トレーニング、後半はパートナーストレッチとお一人ずつ個別にアプローチさせていただき、姿勢改善につなげていくことができると取り組んでいます。

ご参加いただいている皆さんもプログラムや運動種目にも慣れ、ご自身で正しいフォームで各種目を実施

いただいています。筋肉は使わなければ減少していきますが、少しでも使っていれば大きな負荷がなくても、維持・向上が可能です。今ある筋肉をできる限り減少することなく、また維持・向上を目指して取り組んでいきたいと思います。

いつも元気に運動してもらえる姿は本当にうれしく思います。皆さんに少しでも貢献できるよう、引き続きがんばってまいります。

今後ともどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



緑友's kitchen

ワークホーム緑友 管理栄養士 田中 美沙希

ワークホーム緑友では年間を通して、様々な行事食を提供させていただいております。

先日、初めての行事食となる、屋台メニューを提供しました。どのような献立が皆さんに喜んでもらえるのかを考え、今年のメニューは、オムそば・ハッドグ・フライドポテト・スープ・チョコバナナ・オレンジジュースになりました。

ハッドグとは、韓国で作られた新しいアメリカンドッグのことです。中に入っている伸びるチーズに戸惑いながら食べている方や、上手くチーズが伸ばせず苦労されている方もいましたが、皆さん笑顔で食べられていました。

普段はなかなか食が進みづらい方も、あっという間に完食されており、改めて、行事食は皆さんが楽しみにされているのだなあと感じました。

これからも安全で楽しんでいただける食事を提供していきたいと思っています。



ご存じですか?発達障害!

神戸市発達障害者東部相談窓口

今回は発達障害について、考え方、関わり方へのヒントを広く皆様に知っていただきたいと思います。

発達障害は、生まれつきの脳機能の障害で、発達のアンバランスさ・凸凹(でこぼこ)であり、それによって日常の暮らしや人付き合いのしづらさにつながることがあります。

発達障害の原因は、決して「親のしつけ方・育て方が悪い」「親の愛情不足」などではないと医学的に言われています。

例えば・・・

あいまいな表現はわかりにくい。

「そこ、ちゃんと片付けて」のあいまいな表現はわかりにくいです。

急な予定の変更は対応しにくい。

「今日、作業の予定だったけど、いいお天気なのでランチに行こう!」・・・は、ご褒美ではなく、段取りがくるう混乱の種!

大事なものが行方不明!?

サイフ、鍵、携帯電話・・・どこいったけ??

声の掛け方や工夫で暮らしやすくなります。

具体的に伝える。

「この本を2段目の棚に立てておいてね。」と具体的に伝えるとわかります。

事前に予定の変更を理由と共に伝える。

絵カードなどを使い視覚的に伝える。特性に合わせて、伝え方を工夫します。

置く場所を明確にする。



気になること、聞いてみたいことがございましたら、発達障害者東部相談窓口までご連絡ください!

滝谷ホームの自然な毎日

サービス管理責任者 前川 明理



長田区滝谷町にある「滝谷ホーム」は5名の男性が生活されています。開設されて16年目になります。神戸の街を一望できる高台にあるホームは庭や居室の窓を開けると爽やかな風が入り素晴らしい景色を見ることが出来ます。そんな中、日々生活を送っています。

朝の「おはよう」から仕事や事業所から帰ってきた際には「ただいま」を、世話人宿直員が中心になって、挨拶からコミュニケーションを取るように心掛けています。些細なことではありますが、言葉を交わす

ことで「今日は仕事どうでしたか?」「大変やった・頑張った」と表情も和らいで、目をみて確認が出来ています。バックアップ事業所ワークホーム緑友の職員が定期的に訪問した際にも「こんにちは!おう、前川さん来てたんか」と自然に挨拶してくれます。緑友訪問者カレンダーをみて楽しみにしている方も居られます。徐々にではあるのですが、自然と挨拶や会話が増えてきているように思えます。近隣の自治会の方も地域の一員として、一緒に自治会清掃や挨拶をすることで、気に掛けて色々教えて下さっています。色々な方に支えられ培った16年、これからも自然な楽しい毎日を過ごせるように、協力して過ごされることを願っています。



新緑マスタース対談



司会進行：光岡 記録：田中

光岡：それではよろしくお願ひします。まず、「なぜこの仕事を選んだか」というポイントを教えて下さい。私は学生時の障害施設でのアルバイトがきっかけでした。自分もできるかなあ?と思ったことです。

竹本：当初は老人施設に興味がありました。福祉の業界を知っていくうちに、障害の分野もあると知り、障がいの施設を選びました。いここに障がいを持った方がいること、学生時代の実習が楽しかった、ということも理由です。

堀江：小学校の教師を目指していましたが、教育実習で小学生になじめませんでした。将来どうしようかと落ち込んでいた時に、親戚から勧められました。ボランティアに行っただけでそのまま就職することになりました。

廣岡：はじめは、「老人関係」の就職を考えていて、特別養護老人ホームに実習にいきました。しあわせの村内の施設を受験したのも、新緑福祉会から声を掛けていただいた結果、グリーンホーム平成の職員に採用となりました。

光岡：若い頃（勤めて間もないころ）の失敗談を教えてくださいませんか？

竹本：利用者の方が早食いだっただけで、何とかしたいと思って、一食を2回に分けて提供したことがあります。上司に報告をせずに提供していたので、怒られました。また、ダウン症の方に、実習の案内書類を渡す際、実習が嫌だったのか、持って帰ってくれないことがありました。お互い頑固になってしまったのですが、もうちょっとご本人の意思を聞けばよかったですと反省しています。

堀江：三宮の繁華街で複数の利用者を引率している時に、てんかん発作を起こした方がいました。頭が真っ白になり現場で周囲の人にうまく説明できなかったため、大騒ぎになって、人だかりができたことがありました。事業所に連絡し主任に来てもらい収めてもらいました。

廣岡：グリーンホーム平成では利用者、職員とも同世代の方が多かったので、スムーズに中に入れました。何がよいのか悪いのかも分からず、毎日楽しくすごしていました。失敗談は今となっては、数々あります（泣笑）。毎日が、何もかも新しい発見でした。

光岡：最初に働いた施設の頃は、ひとり暮らしだったこともあり、よく遅刻していました。朝起きたら、9時!と気づくことがよくありました。

光岡：それでは仕事からちょっと離れますね。みなさんの休日の過ごし方を教えてください。

竹本：オートバイに乗るのが趣味なので、遠くのバイクカフェに行き買い物をしてきます。あとは、本を読むことも楽しみの一つ。ジャンルはスピリチュアル系です。

堀江：高校野球観戦です。甲子園に限らず、

鳥取県、和歌山県、滋賀県など地方大会にも行きます。自分の人生を試合に置きかえて観ています。夏の甲子園は、第1試合の最初から、第4試合の最後までしっかり観戦します。

廣岡：若いころは色々なことをしていましたが、今は、土日は野球（少年、高校）を楽しんでいます。なので、最近では、家族とは土日を一緒に過ごしていません。あとは、海での釣りです。特に船釣りで釣る、鯛、太刀魚、飯の捌き方も上手くなりました。魚を捌くのによく切れる包丁が欲しいと思うこの頃です!

光岡：私も同じです。老後が…という話が出る時に、これという趣味が無いと感じています。没頭することがないなあ。 (趣味の) つまみぐいはするのですが…。パチンコとか。最近では家でメダカを飼っているのですが、増えてきていて、それに追われています。誰か欲しい人がいればわけます!

光岡：それでは、仕事のことに戻ります。仕事に対するモットーを教えてください。

竹本：どなたに対しても親切で、丁寧な対応、ということです。

堀江：絶対仕事を寝かさない。後回しにすると流れがかわるので早め早めにする、ことです。

(昔は、一生懸命がモットーと言っていませんでしたか?という質問に対して…) 一生懸命することは基本です。種類が増えると速さが求められる、と思うようになりました。

廣岡：オンオフの切り替えが一番大事かと思っています。

光岡：僕はちなみに、「利用者の命を大事にする」ということです。最初に働いた施設が入所だったこともあり、何人の方が亡くなっているのを見てきているので…。そう思っています。

光岡：今までの仕事で楽しかったことは何ですか？

竹本：「うれしかったこと」と言い換えると、初めて入所式の司会を頼まれたときのことです。司会が苦手だったのですが、何とかやり終えて、主任からほめてもらって、自信になり、やる気につながりました。楽しかったことは、宿泊旅行の朝風呂に同室の皆さんとゆっくり入ったことです。

堀江：玉津むつみ家での海水浴やキャンプが無事に終わった時の充実感ですね。それと、新緑の家の利用者として“あげあげホイホイ”を踊って、自分の気持も“あげあげホイホイ”になったことです。また、35歳から潰瘍性大腸炎という難病を抱えることになったのですが、ここまで元気に働けたことは、皆様の支えがあったからだと思っています。

廣岡：やっぱり行事です。今はなかなか取り組めないのですが、昔は、いろんなことができて、利用者と一緒に楽しめました。

光岡：僕は、微々たる楽しさだけど、利用者の方が表現するしぐさ、です。自分なりちょっとした笑いのツボ。それが見られたときには楽しい。まわりからみたら気持ち悪いかもしれないけど、ちょっとした発見ができた時が楽しいですね。

光岡：後輩職員にひとことお願いします。今までの経験を生かした上で失敗談もあるかもしれませんが・・・。

竹本：いろいろ考えたのですが、今、若い人や中堅の人がしている仕事、自分がしたいという仕事ではなく、自分から開拓しないまま、日々終わっているかもしれないのではないのでしょうか。したいことと、していることが一致するように続けて欲しいですね。志半ばで辞めていく人も見ます。できるだけ続けてもらいたいと思っています。

堀江：例えば、利用者に踊りを指導するときに、今は便利になったので「DVDをみて踊って下さい」といっていることが多くなっています。DVDをつけてもいいのですが、やっぱり職員も汗を流して利用者の前で踊ってほしいと思います。映像の中の人ではなく、「生（なま）」の姿を見せてあげて欲しい。

廣岡：最近つくづく思うのが、相手のことや他事業所のことを考え、動いて欲しいということです。法人にこれだけ多くの事業所やセンターがあるので、(自分が数か所の事業所を回ったから思うのかもかもしれませんが) 個々のいいところを見て、異動がプラスに働くようにしてほしいと思います。自分のところだけが良い、というのではなく、これを取り入れたら、もう少しよくなるのでは?というような視点で考えて欲しいと思います。

光岡：自分が失敗もしてきて思うのが、自分が先に立つのではなく、縁の下の力持ちではないですが、応援する気持ちや根気強さ・工夫を何事にもしてほしい、と思います。すぐにあきらめるのではなく、すぐに購入するのではなく、工夫することで見つかる物もある、それを大切にしてほしいと思います。

光岡：最後に、自分自身の今後の課題を教えてください。

竹本：事業所運営の適正化です。白川台ホームも欠員がでているので、利用者に来てもらえるように力を入れたいと思います。事業運営や経営についても学びを深めたいと思っています。

堀江：一つは、人の顔を見てしっかりと発言すること。もう一つは整理整頓、です。施設長になって人前で発言することが増えました。自分だけではなく、職員や利用者の人生や思いを背負っていると自覚して発言していかねば、と思っています。誤解がないよう、しっかりとした言葉でごまかさずに発言したいです。もう一つは自分の一番苦手な“整理整頓ができていない”ことです。書類を探す時間は無駄。一刻を争うときに差が出ます。いらぬものは捨てることから始めたいと思います。

廣岡：今の自分の立ち位置を見極めてどう周りを活かすか、が重要だと思います。仕事だけではなく、プライベートも含めて重要だと思います。自分も楽しみつづ、周りもどう楽しみながらどう仕事に携わってもらえるか、を考えるようになりました。

光岡：私の課題は・・・現在置かれている立場を一生懸命やることです。

以上です。今日はみなさんありがとうございました。

竹本施設長
(平成元年 平成着任)廣岡施設長
(平成元年 平成着任)堀江施設長
(平成元年 むつみ着任)

支援者芳名録

【平成31年4月～7月】

「後援会扱い」

賛助会員名(敬称略)

吉田清、堀江善也、高崎康夫、片岡喜信、道畑武之、浅田ルミ子、松吉慶四郎、森田幸子・綾、後藤久美子、竹山昭治、浦野弘、門脇ミツ子、長谷川まさえ、澤田公子、森村正一、匿名希望、胡谷一彦、畠中連、福永昭三、平川豊子、中尾弘三、藪野幸子、坂口民子、田中伸布子、大辻一久、門脇重道、池田恭子、吉田裕子、濱田みや子、森山美枝子、三木奈留美、墨谷悦子

会費合計 131,000円

「法人寄付扱い」

寄付者名(敬称略)

前田勝美、吉田清、片岡喜信、道畑武之、森田幸子・綾、木下伸子、後藤久美子、村川美和子、浦野美樹子、匿名希望、胡谷一彦、田中信行、門脇重道、堤莊祐、藤原民子、清水好子、松岡正道、関雪貞、吉田裕子、有本政一、小池正子、井川智子、三木奈留美、丸山昭枝・隆也、井領俊治、松本富久身

寄付金合計 1,143,000円

【法人】

新緑福祉会へのご寄付のお願い

社会福祉法人新緑福祉会へのご寄付受付を当法人事務局にておこなっています。

障がい(児)者の方が一人でも多く社会に参加し、生きることを心から楽しめるよう知的障がい(児)者の家族、職員一丸となって取り組んでおります。

当法人の考え方、事業に共感をしていただける皆様からのご厚情・ご支援をお待ち申し上げております。

皆様からのご寄付はこのように役立てています

- ・新規事業所の創設(グループホーム・相談支援事業所等)
- ・車両の購入(送迎用ワゴン車、作業用トラック等)

個人ご寄付 1口 3,000円、団体ご寄付 1口 10,000円

ご寄付の方法

《お振込》

郵便振込

口座番号: 00940-5-0236641

加入者名: 社会福祉法人 新緑福祉会(シャクワフクジシヨクワフクカイ)

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

《現金でのご寄付》

法人本部事務局及び、法人内各事業所でも受け付けております。(受付時間 平日9:00～17:00)

※窓口にて「払込取扱票」をご記入いただけます。

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

当法人にご寄付いただくと、以下の所得税法及び法人税法による控除が受けられます。手続きは、寄付をされた年の確定申告時に、当法人が発行した寄付金領収書を添付して下さい。

<個人の場合>

以下の限度額で所得税法の寄付金控除が受けられます。

(「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のいずれか少ない方の金額) - 5,000円 = 寄付金控除額

<法人の場合>

次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。

《(期末資本金及び資本積立金 × 事業年度の月数 / 12 × 2.5 / 1,000) + (当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 100)》

ご寄付に関するお問い合わせ

社会福祉法人 新緑福祉会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7

TEL: (078) 913-1277 FAX: (078) 913-1137

メール: otoiawase@shinryoku.or.jp

【後援会】

後援会賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金の償還金相当額 540 万円の財政支援をしています。また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。さて、賛助会員の皆様のご協力により、念願の「えみのき(咲の樹)」が竣工しました。今後は、ショートステイ、相談支援の運営にも期待が高まっています。ただ、親なき後の住まいについては、まだまだ多くのニーズが解消されておりません。そのため、さらなる事業拡大に向けて更に多額の資金が必要となり、資金集めに取り組まねばなりません。そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いたしますよう、お願い申し上げます。

🌿 年会費: (個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)

🌿 振込先: 郵便振込 口座番号: 00960-2-145979

🌿 加入者名: 「新緑福祉会 後援会」

🌿 新緑福祉会のHP(<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第10号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。ベテラン職員の本音に触れる特別企画「新緑マスターズ対談」は、いかがでしたか。併せて、事業所ごとに活動報告が順次更新されていますので、スマートフォン対応のホームページもご覧ください。

後援会の皆様には、真夏の炎天下、しあわせの村バザーへの出店ありがとうございました。引き続き法人運営を支えていただきますことに感謝しつつ、社会啓発の一環である各種バザーへの協力をよろしくお願いいたします。

法人では、今後も多くの支援を得て、利用者ニーズに応じた各種設備の更新を計画的に進めて参ります。